

明治安田生命 子育てに関するアンケート調査を実施

男性の育休「必要」と思う人は7割！育休制度改正など男性育児の話題が後押し！？
一方で、取得率は3割に届かず。背景として給与減少を不安視した声が大きく増加！
イクメン率は6割目前！「自身の父親がイクメン」だと、イクメンになりやすい！？

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、10月19日のイクメンの日にあわせて、0歳から6歳までの子どもがいる既婚男女に「子育てに関するアンケート調査」を実施しましたのでご報告します。

1. 働き方について

（1）男性育休について

■子育て中の約7割の人が男性の育休取得が「必要」と回答！

取得した男性の約9割が「配偶者をフォローしたいと思った」等、子育てに良い変化が！

- ・今年6月の育休制度改正で男性の育休が促進されるなか、子育て中の約7割の人が男性育休を「必要」と回答！
- ・育休を取得した男性は「子育ての大変さがわかり、配偶者をもっとフォローしたいと思った」や「子育ての大変さがわかり、積極的に子どもに接するようになった」といった回答など、約9割の人が子育てに良い変化があったと実感！

■男性育休取得率は3割未満。給与減少を不安視して取得しづらいという声が急上昇！

- ・男性育休取得者は過去最高値となるも、取得率は未だ3割未満と道半ば
- ・取得できなかった理由の最多は「給与が減少する等、金銭的な面で取得しにくかった」で、前年より14.0pt上昇！コロナ禍の長期化により給与減少を不安視した結果か！？
- ・給与面以外では、「長期職場を離れ職場に戻る際の周囲の雰囲気不安がある」や、「利用するための周囲の理解が不足している」等、周りの目を気にする回答が多数

明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一が 男性の育休取得について分析！

（2）テレワークについて

■働く男女ではテレワーク賛成派が多数！一方で専業主婦の3割超が夫のテレワークに難色！

- ・働く男女は、テレワークを「仕事の合間に子育ての時間がとれて便利なため」という回答が多数となるなど、賛成は約6割を占め、多くの人がテレワークにメリットを感じている。特に働く女性は、「子どもが急病の際も仕事を休まずに、看病ができるため」や、「保育園・幼稚園に通園ができなくても、仕事ができるため」といった回答が男性よりも多くみられ、テレワークが働く母親の一助に
- ・一方で、3割超の専業主婦が夫のテレワークに難色を示す結果に。理由として「（夫が）ずっと家にいることで不和になり子どもに悪影響」や、「（夫が）ずっと家にいることで家事に比重がかかり育児に専念ができないため」等の回答が多く、子育てへのマイナスの影響を懸念？

（3）専業主婦の働く意欲について

■専業主婦の約8割が「働く意欲」がある一方、約4人に1人がコロナ禍で働くことに躊躇 アフターコロナでは、コロナへの不安解消とテレワーク活用による女性活躍に期待！

- ・「働く意欲」のある専業主婦は約8割！現在働いていない理由は、約4人に1人が「コロナ禍で働きに出ることへの不安があるため」と回答。他には「保育園がみつからないため」等の子どもの預け先に関する懸念材料となっており、さらなる「保育園・幼稚園」等の保育施設の充実が望まれる
- ・アフターコロナでは、保育施設の充実とともに、コロナ禍を契機として進んだテレワーク活用による職場環境が整うことで、今働けていない人たちも活躍の場が広がるか！？

2. お金について

(1) 収入について

■子育て中の女性の収入は過去最高値に！

- ・子育て中の女性の収入は、配偶者特別控除の改正があった2020年以降増加しており、今年度は163万円と過去最高値に

(2) 子育てにかかる費用について

■コロナ禍により子育てにかかる費用にも変化

実際の費用は2019年から1割減少、「幼保無償化」の影響か！？

- ・子育てにかかる費用の内訳についてコロナ禍前と比較すると、「食費」や「日用品費」が増加しているのに対し、「レジャー・旅行費用」が減少しており、コロナ禍の影響が現れる結果に
- ・子育てにかかる費用は、2019年の月額「40,687円」から2021年は「36,794円」と幼保無償化導入後から費用は約1割減少している

(3) 子どものための貯蓄について

■子どものために貯蓄している平均額は、月額22,605円

- ・子どものための貯蓄額は平均月額「22,605円」、理想の貯蓄額は、平均月額「35,151円」の結果となり、実際の貯蓄額から「12,546円」の差。貯蓄の主な目的については、大多数が「教育費のため」(85.8%)、次点は「自分の身に何かあった時に子どもへ残すため」(45.5%)

明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一が
子育て世帯のお金について分析！

【Topics 子どもの習い事の今昔】

今も昔も変わらず「水泳」が人気！今の子どもの習い事は国際化やIT社会を見据えた傾向に！

- ・「子どもに習わせたいこと」、「自身が習っていたこと」とともにトップは「水泳」で、今も昔も習い事の“花形”
- ・今の子どもの習い事の傾向は「英語」や「プログラミングなどのパソコン教室」がランクインするなど、国際化やIT社会を見据えた傾向に！
- ・一方で、「自身が習っていたこと」では「習字・書道」が上位ランクインに対し、「子どもに習わせたいこと」ではランク外と、子どもの習い事にも時代の移り変わりがみえる結果に！

【「子どもに習わせたいこと」・「自身が習っていたこと」トップ10】

子どもに習わせたいこと		
1位	水泳	48.7%
2位	英語	37.5%
3位	ピアノ	26.6%
4位	サッカー	15.7%
5位	プログラミング・パソコン教室	13.0%
6位	そろばん	11.5%
7位	ダンス	10.9%
8位	野球	9.7%
9位	体操・新体操	7.9%
9位	空手	7.9%

自身が習っていたこと		
1位	水泳	36.5%
2位	ピアノ	32.3%
3位	そろばん	18.7%
4位	習字・書道	13.4%
5位	英語	13.2%
6位	サッカー	12.6%
7位	野球	11.7%
8位	バスケットボール	6.0%
9位	剣道	4.2%
10位	バレエ	3.9%

3. イクメンについて

(1) 自身の父親がイクメンだとイクメン

- イクメン率は6割目前！「自身の父親がイクメン」だった人の約3人に2人がイクメンに！
- ・「自身がイクメン」「夫がイクメン」と回答した人の合計は58.1%で、イクメン率は6割目前！
自身の父親が「イクメンであった」と回答した子育て中の男女は約2割で、以前より男性の育児が定着
 - ・また、「父親がイクメンだった」と回答した男性のうち、自身もイクメンと回答した男性は67.6%となり、約3人に2人がイクメンに！

(2) イクメンランキング

- イクメンランキング総合第1位は「杉浦太陽」さん！
- 新設のスポーツレジェンド部門では、「アレックス・ラミレス」さんが第1位に！
- ・総合ランキングでは、前年の第5位から大きくランクアップして「杉浦太陽」さんが第1位に！
 - ・新設したスポーツレジェンド部門では、「アレックス・ラミレス」さんが第1位でイクメンオブザイヤーに輝く！

【総合・部門別トップ】

総合	杉浦太陽 さん
スポーツレジェンド部門	アレックス・ラミレス さん
バラエティタレント部門	はなわ さん
俳優・歌手部門	つるの剛士 さん

番外編 子育てを表す漢字ランキング

- 子育てを表す漢字トップは男女とも「愛」
- 夫がイクメンだと、女性の育児は「楽しく」「幸せ」
- ・子育てを表す漢字、トップは男女とも「愛」が選ばれる結果に！
 - ・ポジティブな漢字「楽」「幸」を選んだ女性と、ネガティブな漢字「忍」「苦」を選んだ女性を比較すると、「楽」「幸」を選んだ女性の夫はイクメン率が高いのに対し、「忍」「苦」を選んだ女性の夫のイクメン率が低い傾向が！
 - ・女性が「楽しく」「幸せ」に子育てをするためにも、男性が「イクメン」となり育児に参画を！

	夫がイクメンと回答
楽、幸 (ポジティブな漢字を選んだ女性)	75.0%
忍、苦 (ネガティブな漢字を選んだ女性)	38.9%

＜対象者の属性＞

1. 調査対象

0歳から6歳までの子どもがいる既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2021年8月5日（木）～8月6日（金）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,100人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	夫婦共働き	妻（自身） が専業主婦	計
0歳から6歳までの子どもがいる既婚男性	330	220	550
0歳から6歳までの子どもがいる既婚女性	330	220	550
計	660	440	1,100

【目 次】

1. 働き方について

- (1) 男性育休について . . . 6～9 ページ
- (2) テレワークについて . . . 10～11 ページ
- (3) 専業主婦の働く意欲について . . . 12 ページ

2. お金について

- (1) 収入について . . . 13 ページ
- (2) 子育てにかかる費用について . . . 14～15 ページ
- (3) 子どものための貯蓄について . . . 16～17 ページ
- Topics 子どもの習い事の今昔 . . . 18 ページ

3. イクメンについて

- (1) 自身の父親がイクメンだとイクメン . . . 19 ページ
- (2) イクメンランキング . . . 20 ページ

- 番外編 子育てを表す漢字ランキング . . . 21 ページ

1. 働き方について

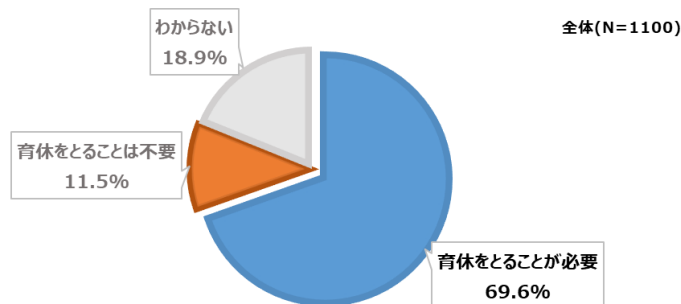
(1) 男性育休について

子育て中の約7割の人が男性の育休取得が「必要」と回答！

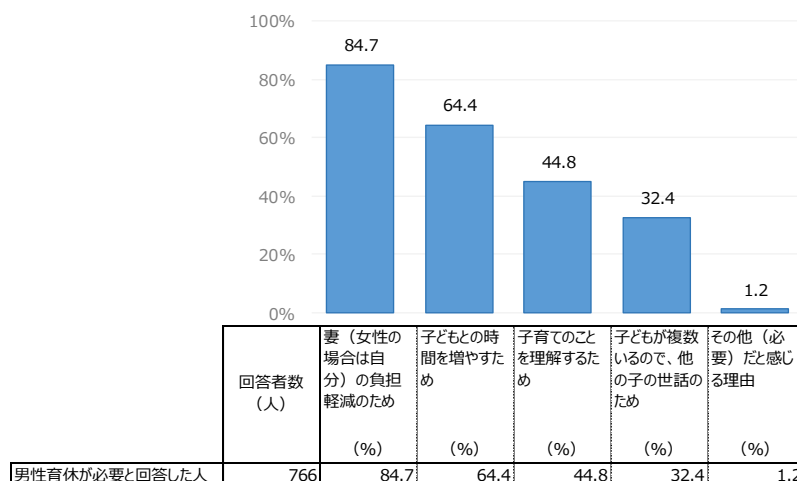
取得した男性の約9割が「配偶者をフォローしたいと思った」等、子育てに良い変化が！

- 2021年6月に育児・介護休業法が改正され、2022年4月から男性の育児休業取得促進策等が段階的に施行されますが、男性育休が必要かどうかを子育て中の男女に聞くと、69.6%の人が「必要」と回答しました。
- 必要とした理由は、「妻（女性の場合は自分）の負担軽減のため」（84.7%）がトップで、次いで、「子どもとの時間を増やすため」（64.4%）となりました。
- さらに、育休を取得した男性に、子育てに良い変化があったかを聞くと、約9割の男性が子育てに良い変化があったと回答しています。具体的には、「子育ての大変さがわかり、配偶者をもっとフォローしたいと思った」（49.4%）や「子育ての大変さがわかり、積極的に子どもに接するようになった」（44.6%）といった変化を実感した男性が多くみられました。
- また、夫が育休を取得した女性の意見では、「配偶者が積極的に子育てをフォローしてくれるようになったと感じた」（52.0%）や、「配偶者の子どもへの愛情が深くなったと感じた」（43.2%）等、好意的な意見が多くみられます。
- 子育て中の多くの人が育休を「必要」と認識しており、改正育児・介護休業法により、今後男性育休の取得率向上に繋がっていくかもしれません。

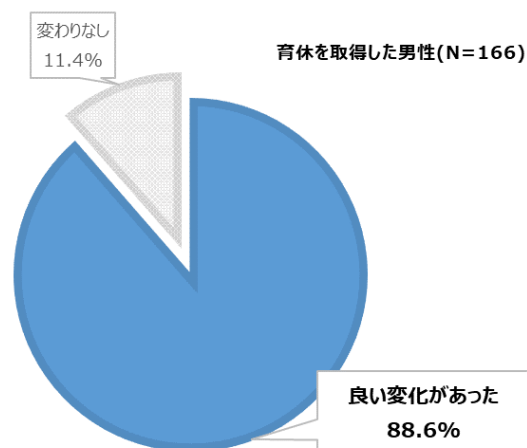
■男性が育休を取得することについてあなたの考えを教えてください (育休をとることが必要・不要・わからない)



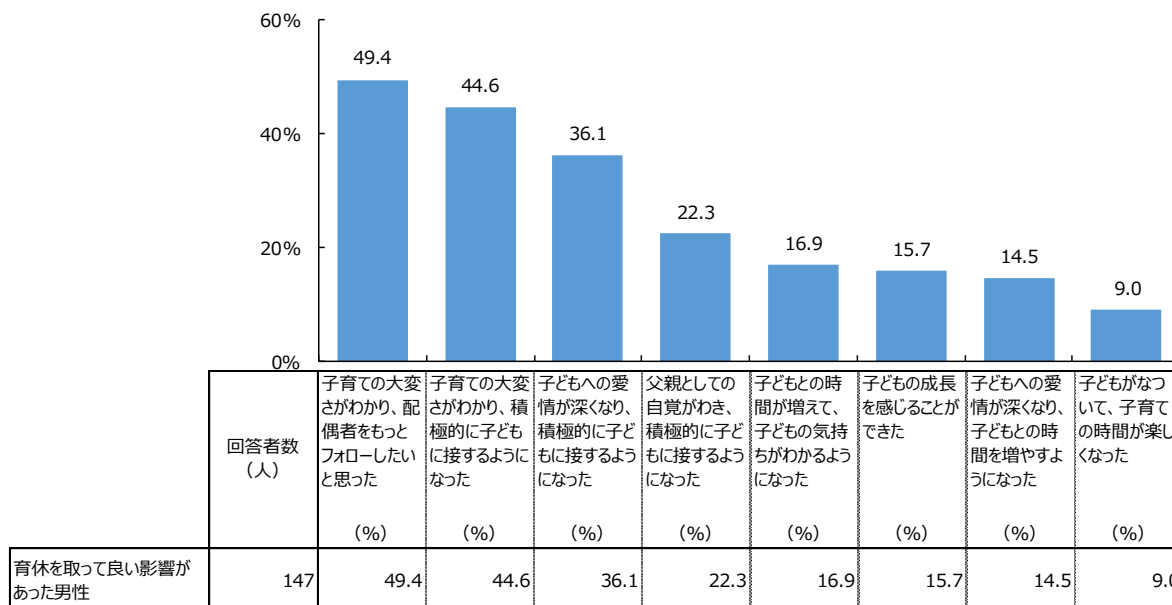
■男性育休が必要だと思う理由（男性育休が「必要」とした人のみ回答）



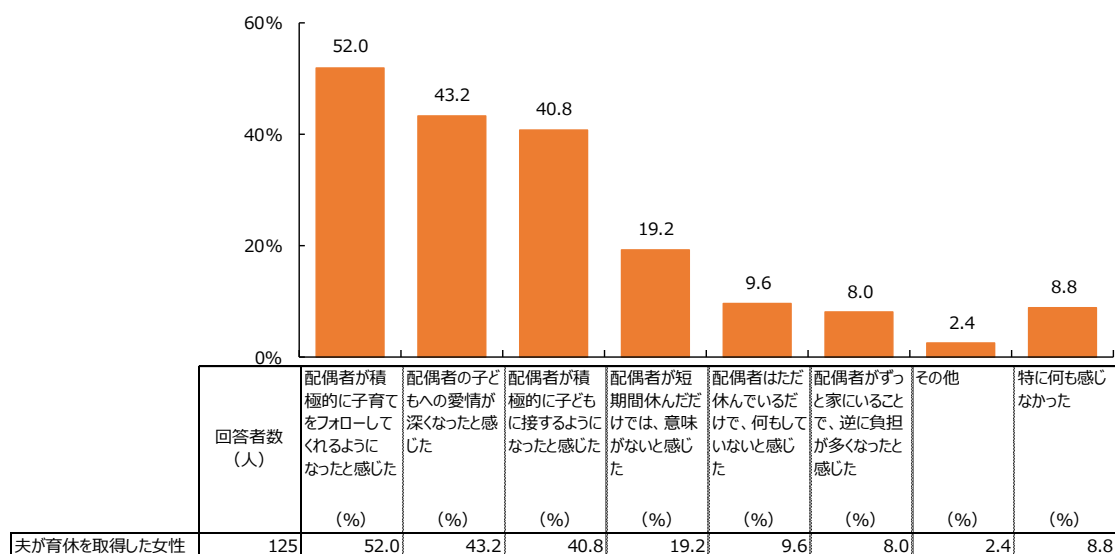
■育休取得により、育児について良い変化がありましたか（育休を取得した男性のみ回答）



■育休取得による育児への良い変化（育休を取得して子育てに良い変化があった男性のみ回答）



■配偶者が育休を取得したことをどのように感じますか（夫が育休を取得した女性のみ回答）



男性育休取得率は3割未満

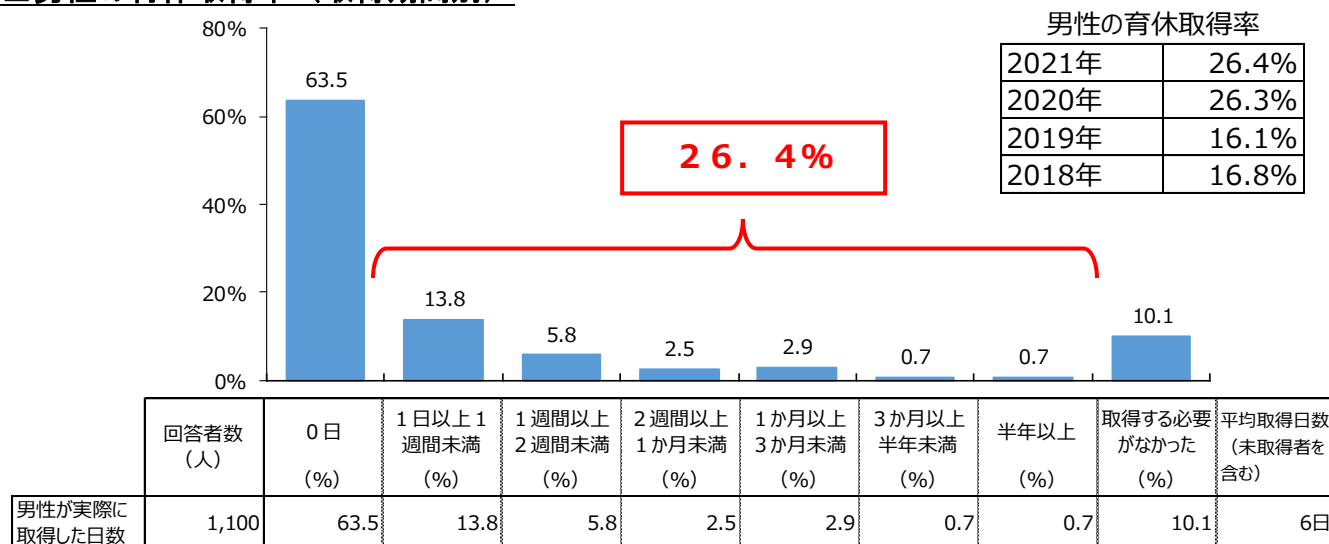
給与減少を不安視して取得しづらいという声が急上昇！

○男性育休取得者は過去最高値となるも、未だ取得率は3割未満（26.4%）にとどまり、男性育休取得率の伸び悩みが現れる結果となりました。

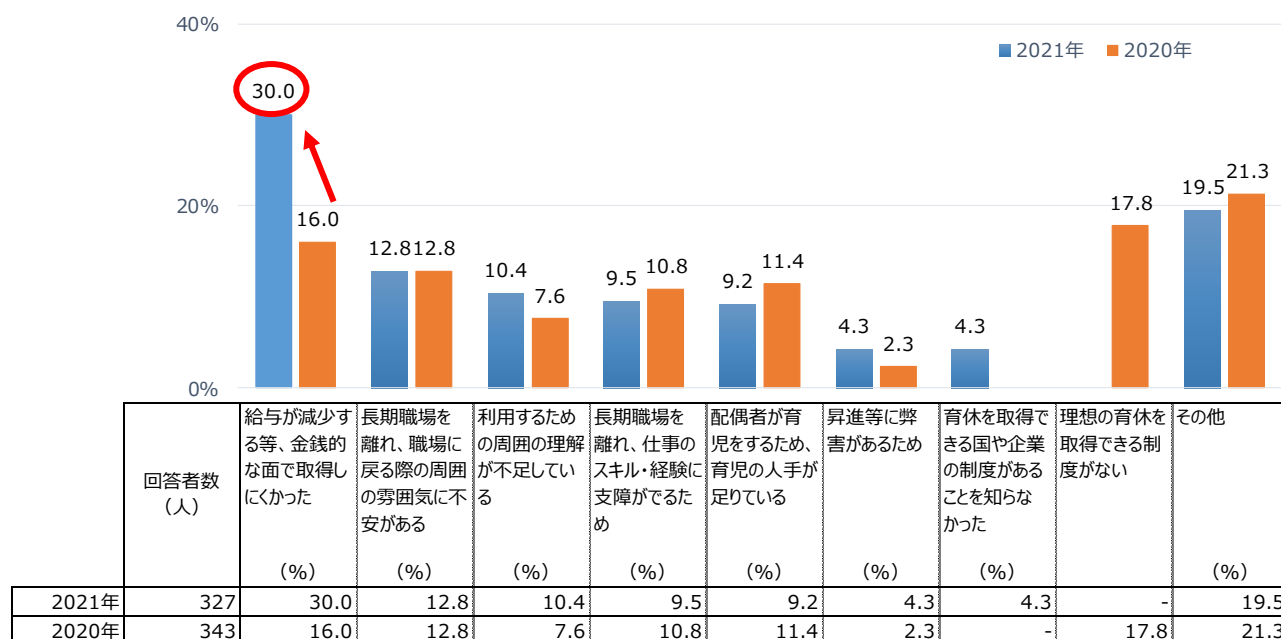
○取得が進まない理由について、育休を取得しなかったのに取得できなかった男性に理由を聞くと、「給与が減少する等、金銭的な面で取得しにくかった」（30.0%）がトップでした。なお、同項目を理由とした人の割合を前年と比較すると、14.0pt上昇（前年16.0%）しており、コロナ禍の長期化により「給与減少」を不安視する男性が、育休の取得を躊躇したのかもしれません。

○次に多い理由は、「長期職場を離れ、職場に戻る際の周囲の雰囲気不安がある」（12.8%）や「利用するための周囲の理解が不足している」（10.4%）でした。男性育休取得促進のためには、さらなる職場や周囲の理解・意識改革が必要であることが伺えます。

■男性の育休取得率（取得期間別）



■育休を取得しなかったのに取得できなかった理由（育休未取得の男性が回答）



～フェロー チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



あまり知られていないことですが、日本は、ユニセフが主要41カ国中1位にランクする育児休業制度を持っています。ユニセフによれば、日本は父親に認められた育児休業期間が最も長く、かつ母親とほぼ同じ長さで取れる唯一の国とのことです。反面、就学前教育や保育への参加率は31位と、制度と利用状況の間に大きなギャップがあることが、課題になっています。理由は一つではないでしょう。まず、育児は母親の仕事という社会通念が根強く残っている可能性です。これは、男女の所得格差の一因でもあります。世界経済フォーラム（WEF）が3月に発表したジェンダーギャップ指数では、日本は156カ国中120位でした。特に、経済面では女性管理職の少なさや男女の賃金格差が指摘されており、男性が育児休業を取る場合に所得面で不安を感じる一因と思われます。

もっとも、雇用保険からの育児休業給付金は非課税で、社会保険料の支払いも免除されることから、手取りベースで概ね8～9割がカバーされます。制度内容への理解が進めば、こうした不安はある程度緩和されるでしょう。

金銭以外の問題の方が、解決が難しいかもしれません。アンケートに現れているとおり、職場の理解の不足や、仕事に支障が出るといった不安感、企業にとっては代替人員の確保です。この点、いわゆる日本型雇用慣行も壁になっている可能性があります。

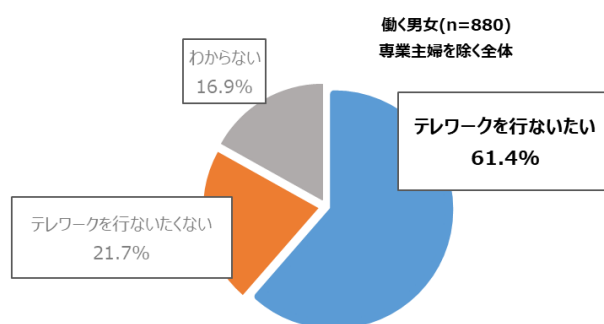
アンケートでは、男性育休への評価は総じて高く、来年には改正育児・介護休業法が施行されることもあって、取得者は徐々に増えていくと予想されます。ただ、北欧並みの普及を図るには、社会の仕組み自体を変えていく必要があるとも考えられ、道のりは険しそうです。

(2) テレワークについて

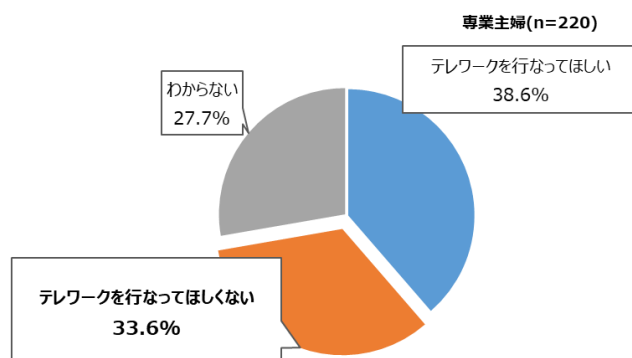
働く男女ではテレワーク賛成派が多数！ 一方で専業主婦の3割超が夫のテレワークに難色！

- コロナ禍を契機に急速に進んだテレワークについて、子育て中の働く男女に、テレワークを行ないたいかどうか、専業主婦に、夫にテレワークを行なってほしいかどうか聞いてみました。
- 子育て中の働く男女では、自分自身が「テレワークを行ないたい」と回答した人が約6割（61.4%）とテレワーク賛成派が多数を占めました。
- テレワークを行ないたい理由は、男女とも「仕事の合間に子育ての時間が取れて便利のため」が最も多く（男性：69.7% 女性：65.0%）、子育てと仕事の両立ができる新しい働き方として、賛成しているようです。
- 加えて、働く女性では「子どもが急病の際も仕事を休まずに、看病ができるため」（60.4%）や、「保育園・幼稚園に通園ができなくても、仕事ができるため」（40.1%）という意見が多く、テレワークがその一助になっているようです。
（ただし、上記の理由は男性よりも女性の方が多くみられ、突発的な事情により急遽子どもの面倒をみななければいけない場合は、母親に多くの負荷がかかっていることがわかります。）
- 一方、専業主婦は、「夫にテレワークをしてほしくない」という回答が3割超（33.6%）で、夫のテレワークに難色を示しています。
- 夫にテレワークを行なってほしくない理由は、「（夫が）ずっと家にいることで不和になり子どもに悪影響なため」（43.2%）や「（夫が）ずっと家にいることで家事に比重がかかり、育児に専念ができないため」（41.9%）等の意見が多く、専業主婦にとっては、夫が家にずっと家にいることで自身のペースが崩れ子育てに影響することを懸念している人も多そうです。

■あなたは、子育て期間中のご自身のテレワーク（在宅勤務）をどう思いますか。

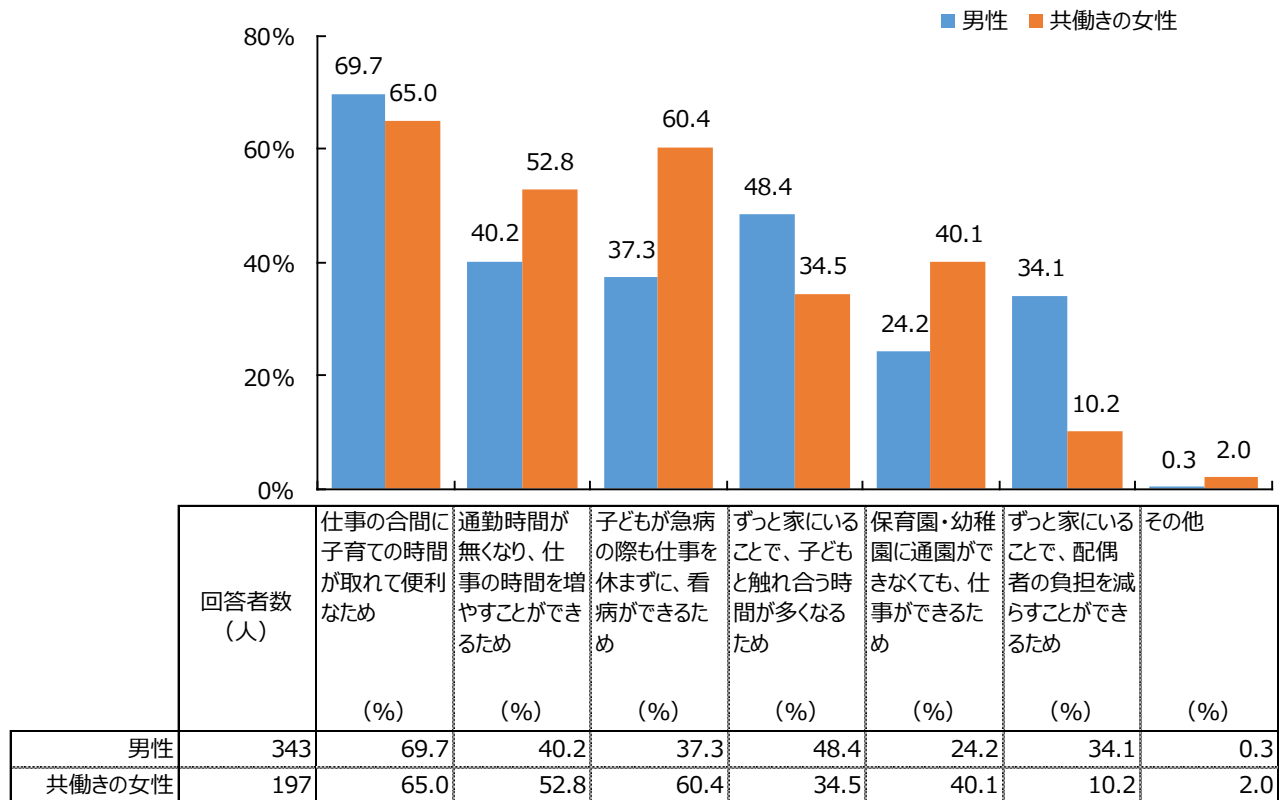


■あなたは、子育て期間中の配偶者のテレワーク（在宅勤務）をどう思いますか。



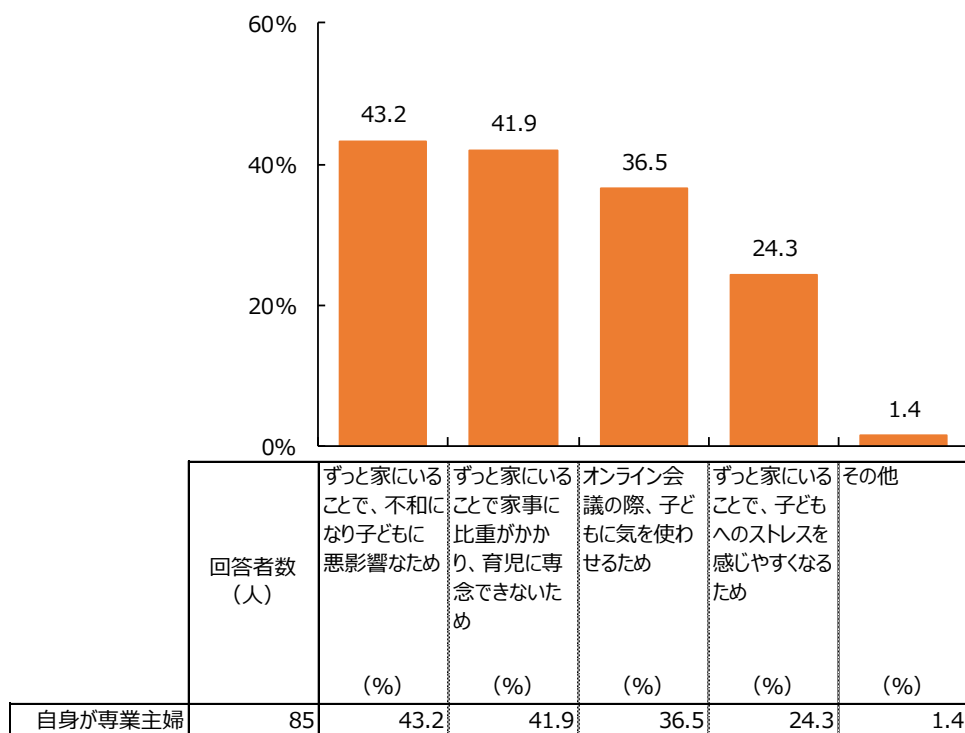
■子育て中の働く男女がテレワークを行ないたい理由

(テレワークを行ないたい人のみ回答)



■専業主婦が夫にテレワークを行なってほしくない理由

(テレワークを行なってほしくない人のみ回答)

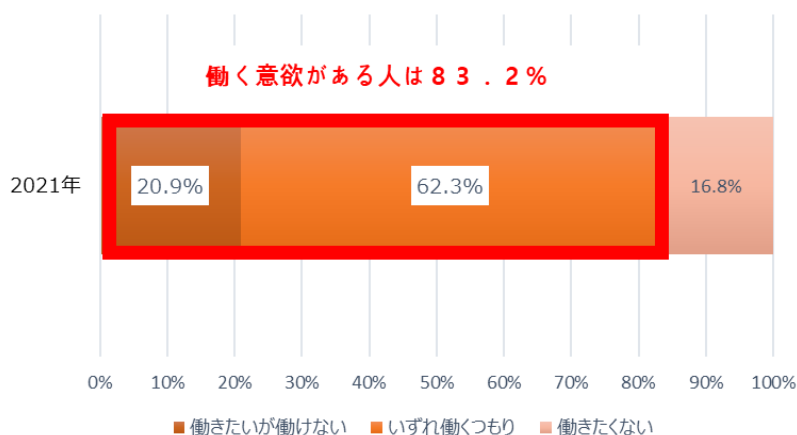


(3) 専業主婦の働く意欲について

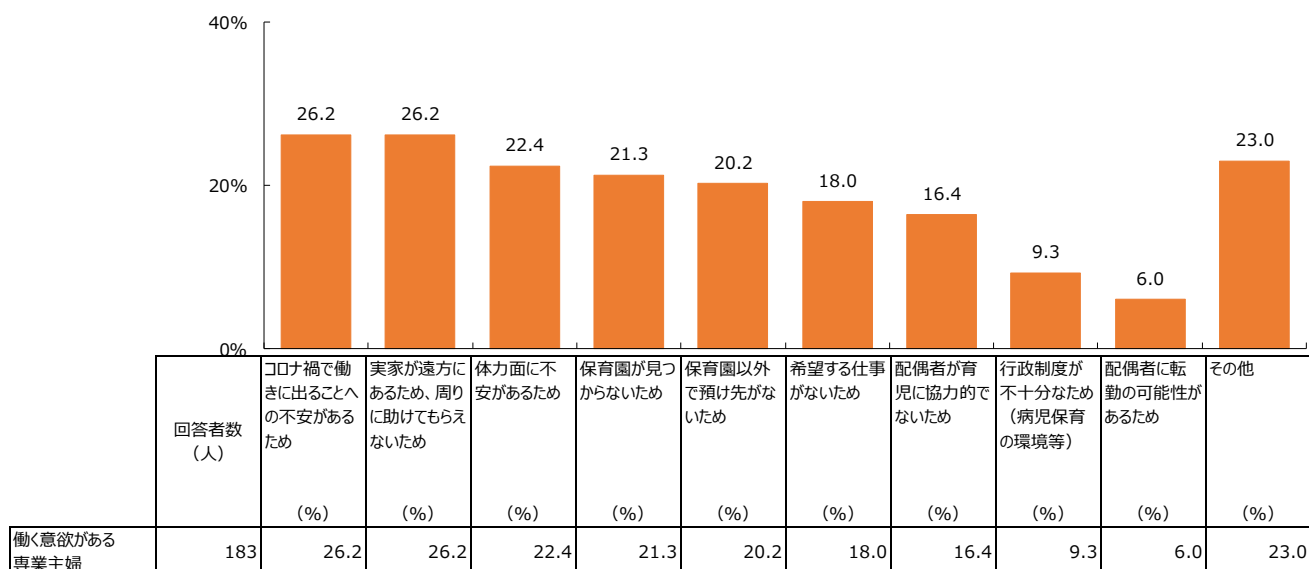
**専業主婦の約8割が「働く意欲」がある一方、約4人に1人がコロナ禍で働くことに躊躇
アフターコロナでは、コロナへの不安解消とテレワーク活用による女性活躍に期待！**

- 専業主婦に、働きたいか聞いてみました。「働きたいが働けない」(20.9%)、「今は働いていないがいずれ働くつもり」(62.3%)と、「働く意欲」を示す回答が約8割(83.2%)を占めました。
- 上記の「働く意欲」がある専業主婦に、働いていない理由を聞くと、約4人に1人が「コロナ禍で働きに出ることへの不安があるため」(26.2%)と回答し、コロナ禍で働くことを躊躇していることがわかりました。
- 他には「保育園が見つからないため」(21.3%)や、「保育園以外で預け先がないため」(20.2%)といった、子どもの預け先に関する懸念とする意見が多く見られました。
- 保育施設の充実は引き続き必要ですが、アフターコロナでは、コロナへの不安解消とともに、コロナ禍を契機に進んだテレワーク活用によって、今働けていない「働く意欲」のある女性の活躍の場が広がることが期待されます。

■あなたの現在の状況は次のうちどれに近いですか



■現在働いていない理由を3つまで選んでください（働く意欲がある専業主婦のみ回答）



2. お金について

(1) 収入について

子育て中の女性の収入は過去最高値に！

- 子育て世帯の年収（男性＋女性）は、前年787万円（男性：634万円＋女性：153万円）から今年は782万円（男性：619万円＋女性：163万円）と、ほぼ横ばいの結果となりましたが、女性の年収は10万円増加しています。
- また、女性の年収を2019年と比較すると、34万円増加しており、これは、女性の働く意欲の向上のみならず、2020年の配偶者特別控除の改正により、収入の壁が取り払われたことも影響しているのかもしれません。

■子育て世帯の年収推移

	世帯合計	男性	女性
2021年	782万円	619万円	163万円
2020年	787万円	634万円	153万円
2019年	755万円	626万円	129万円
2018年	755万円	606万円	149万円

■明治安田総合研究所フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一

～フェロー チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～



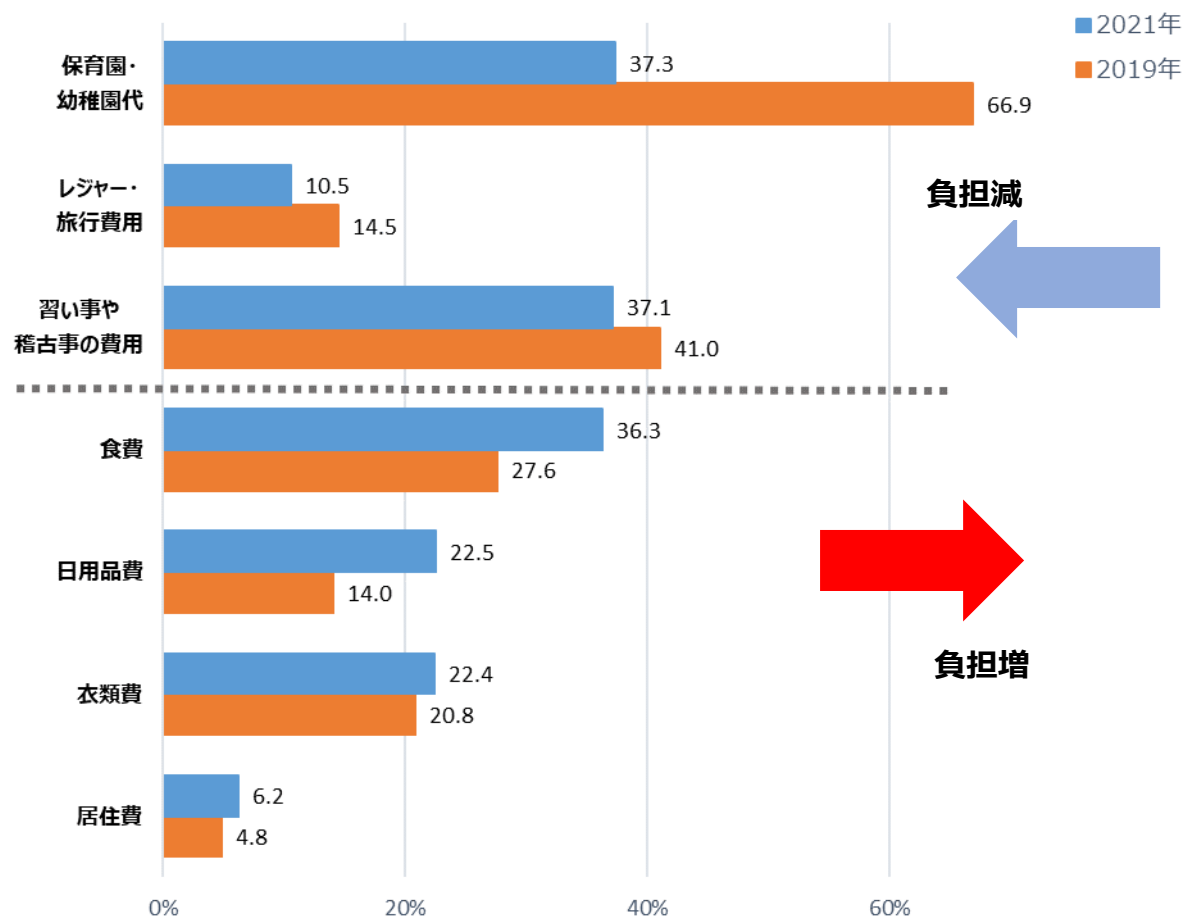
子育て中の女性の収入が過去最高を記録するという嬉しい結果になりました。配偶者控除を受けられる年収要件が引き上げられ、「〇〇万円の壁」を気にする必要性が低下したことが、労働時間の増加に繋がった面はあると思います。また、地方を中心に深刻な人手不足が続くなか、女性の社会進出は着実に進んでいます。子育て期の女性の就業率が下がる「M字カーブ」はほぼ解消しました。また、ここ数年は、女性の非正規社員が減少する一方、正規社員が増加を続けるなど、雇用の質も改善しています。もっとも、上の表をみると、2021年の年収の男女格差は3.8倍とまだまだ大きく、これをさらに縮めていくことが課題です。

(2) 子育てにかかる費用について

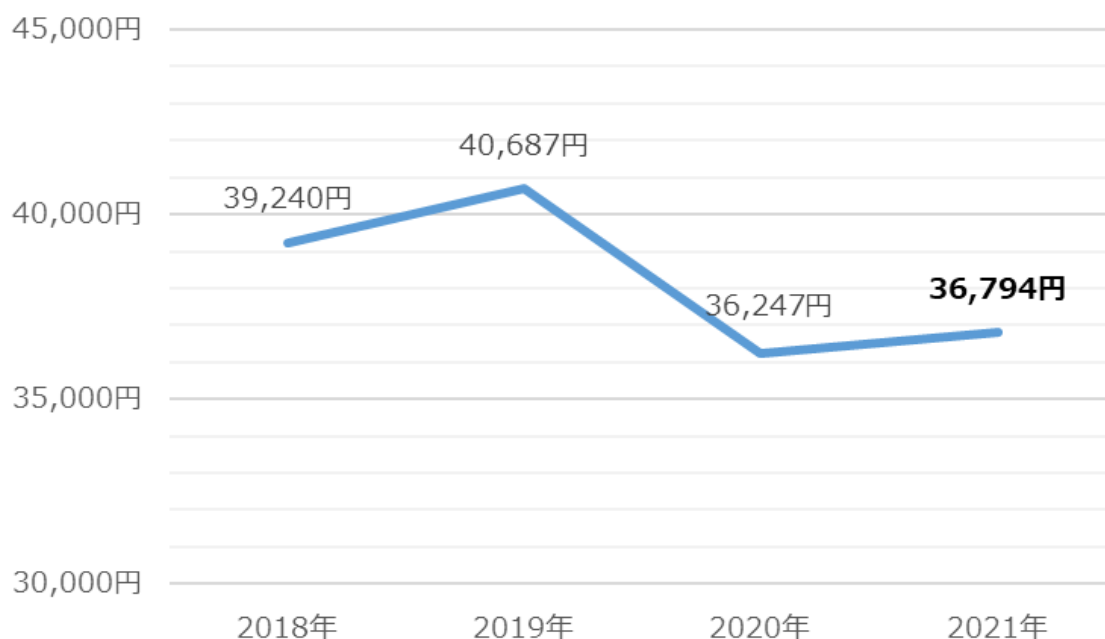
**コロナ禍により子育てにかかる費用にも変化
実際の費用は2019年から約1割減少、「幼保無償化」の影響か！?**

- 子育てにかかる費用で最も負担が大きいものは、「保育園・幼稚園代」(37.3%)、次に「習い事や稽古事の費用」(37.1%)でした。
- 費用負担を感じている項目について、コロナ禍以前(2019年)と比較すると、「食費」(36.3%)、「日用品費」(22.5%)が8p t以上アップしています。一方、「レジャー・旅行費用」は、2019年と比較すると、4.0p t減少と、長引く外出自粛規制の影響は、子育て世帯の家計にも現れています。
- 次に、子育てにかかる費用の平均金額を聞くと、「36,794円」で、コロナ禍以前の2019年(40,687円)以降、減少傾向となっています。
- コロナ禍での外出自粛規制により、「レジャー費」が減ったことに加え、費用負担を感じる項目で「保育園・幼稚園代」(37.3%)が、2019年から29.6p t減少していることから、「幼保無償化」による影響があったといえそうです。

■子育てにおいて負担が大きいと感じる費用(2021年と2019年の比較)



■子育てにかかる費用（月額）



～フェロー チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



子育てにおいて負担が大きいと感じている費用として、保育園・幼稚園代を挙げる家計が、2019年の66.9%から2021年は37.3%へと大きく減少しました。背景に政府の「幼児教育・保育の無償化」があり、子育て世帯の負担緩和に大きく貢献している様子がうかがえます。食費や日用品が増えたのは、ステイホームの結果で、代わりにレジャー・旅行費用が減少しているので、子育て費用の平均金額は、保育園・幼稚園代の減少を反映する形で、2019年から1割程度減少しています。19都道府県で発令されていた緊急事態宣言が解除されたことで、今後、家計が余資をレジャー・旅行費用に振り向ければ、個人消費の活性化と景気回復に繋がる展開も期待できるかもしれません。

(3) 子どものための貯蓄について

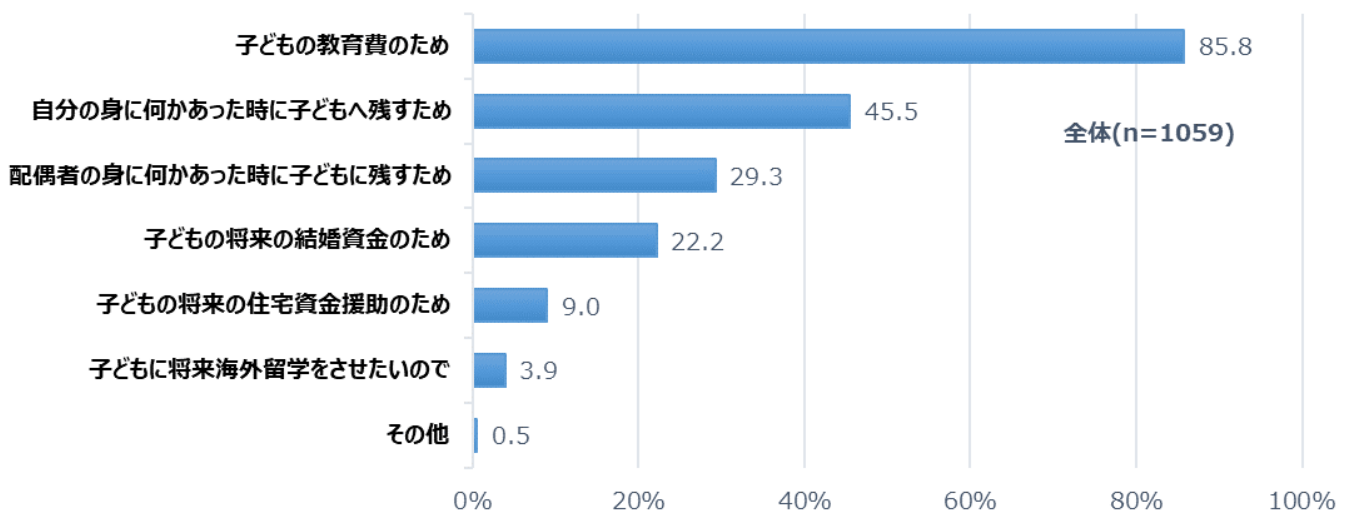
子どものために貯蓄している平均額は、月額22,605円

- 子どものために貯蓄をしている人は96.3%で、ほとんどの世帯が子どものために貯蓄をしていることがわかりました。
- 貯蓄をしている人に実際の貯蓄額を聞くと、平均で月額「22,605円」となりました。また、理想の貯蓄額を聞くと、平均で月額「35,151円」の結果となり、実際の貯蓄額から「12,546円」不足しているようです。
- 次に、貯蓄の主な目的を聞くと、大多数が「子どもの教育費のため」(85.8%)で、次いで「自分の身に何かあった時に子どもへ残すため」(45.5%)という結果になりました。
- 具体的な貯蓄の方法は、「普通預金」(72.0%)が1番多く、次いで「学資保険」(32.5%)の結果となり、子どもの成長とともに長期スパンで貯蓄をしていくなかで、突然の出費等に備えすぐに引き出せる「普通預金」を利用している人が多いのかもしれません。

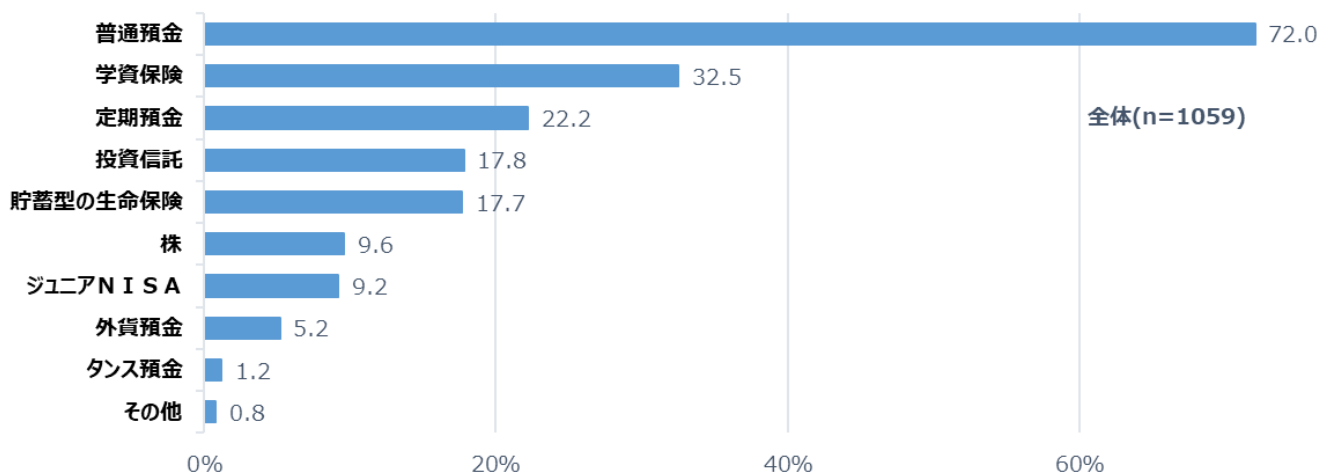
■子どものための実際の貯蓄額を回答した人の理想の貯蓄額（平均月額）

	回答者数 (人)	平均 (円)
実際の貯蓄額	1,013	22,605
理想の貯蓄額	1,013	35,151
実際と理想の差額		12,546

■貯蓄の目的



■貯蓄の方法（子どものために貯蓄をしている人のみ回答）



～フェロー チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



日本政策金融公庫が毎年実施している「教育費負担の実態調査（2020／10）」によれば、高校入学から大学卒業までにかかる子ども1人当たりの教育費用は965.1万円で、前年から26万円増加しました。日本経済がデフレを脱却しきれていない中でも、教育費はインフレ傾向です。大学への公的助成の縮小や、グローバルな競争激化等が背景にあり、このトレンドは今後も続くと予想されます。政府が昨年実施した「高等教育無償化」は対象が限られており、ほとんどの家計は十分な準備が必要です。こうした中、高所得者の子供のみが高等教育の恩恵を受け、格差が世代を超えて固定化するリスクも懸念されています。

**子どもの習い事、今も昔も変わらず「水泳」が人気
子どもに習わせたい事は「英語」「プログラミング」など、国際化やIT社会を
見据えた傾向に！**

- 子育て世帯で費用負担が大きいと感じている項目の「習い事や稽古事」について、どんなことを、子どもに習わせたいのか聞いてみました。
- ランキングのトップは「水泳」（48.7%）、2位は「英語」（37.5%）、3位は「ピアノ」（26.6%）の結果となりました。
- 今と昔で習い事の変化をみるために、自身がどんな習い事をしていたのか聞いてみると、自身が習っていたことのトップは、子どもに習わせたいことと同じく「水泳」（36.5%）で、今も昔も習い事の花形は「水泳」であることがわかりました。
- 昔との比較で差があった習い事は、「プログラミング・パソコン教室」が自身の習い事ではランク外であったのに対し、子どもに習わせたいことでは5位にランクイン（13.0%）、「習字・書道」は自身が習っていたことでは4位（13.4%）であったのに対し、子どもに習わせたいことではランク外、また、「英語」は自身の習い事では5位（13.2%）から子どもに習わせたいことでは2位（37.5%）にランクアップしています。
- 習い事も時代の移り変わりがあり、親が子どもに習わせたい事の現在の傾向は、子どもの将来を見据えて、国際感覚や、ITリテラシー教育を重視していることが伺えます。

■「子どもに習わせたいこと」・「自身が習っていたこと」ランキング トップ10

子どもに習わせたいこと			自身が習っていたこと		
1位	水泳	48.7%	1位	水泳	36.5%
2位	英語	37.5%	2位	ピアノ	32.3%
3位	ピアノ	26.6%	3位	そろばん	18.7%
4位	サッカー	15.7%	4位	習字・書道	13.4%
5位	プログラミング・パソコン教室	13.0%	5位	英語	13.2%
6位	そろばん	11.5%	6位	サッカー	12.6%
7位	ダンス	10.9%	7位	野球	11.7%
8位	野球	9.7%	8位	バスケットボール	6.0%
9位	体操・新体操	7.9%	9位	剣道	4.2%
9位	空手	7.9%	10位	バレー	3.9%

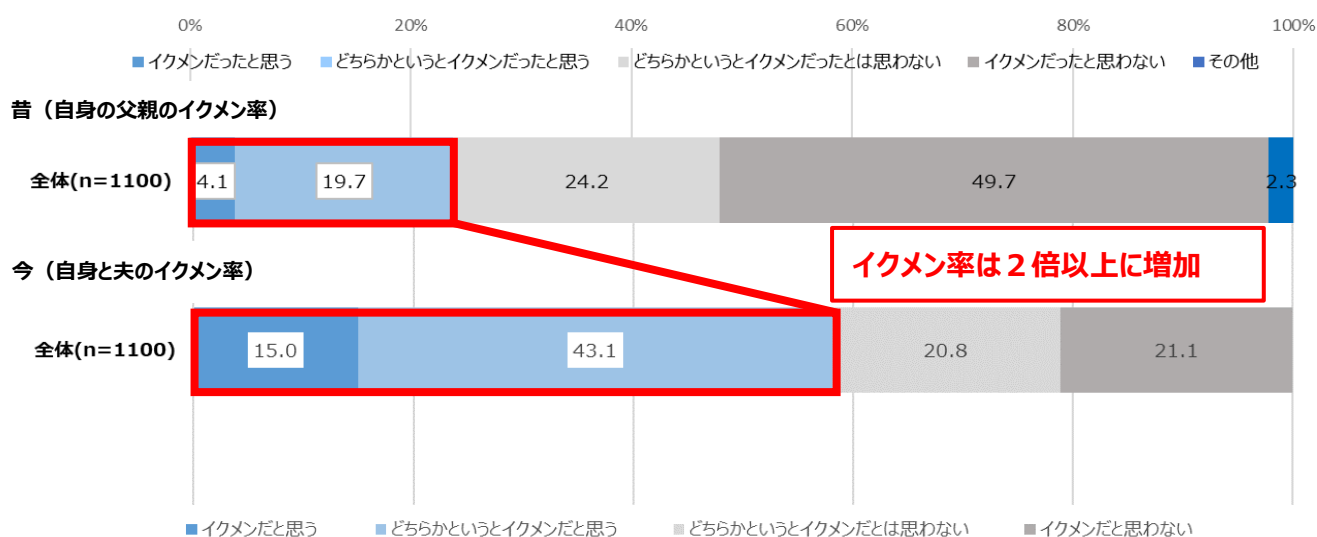
3. イクメンについて

(1) 自身の父親がイクメンだとイクメン

イクメン率は6割目前！「自身の父親がイクメン」だった人の約3人に2人がイクメンに！

- 子育て中の男女に「自身がイクメンかどうか」、「夫がイクメンかどうか」を聞いたところ、イクメンだと思う計（イクメンだと思う＋どちらかというといイクメンだと思う）は、58.1%で、イクメン率は6割目前でした。
- また、自身の父親が「イクメンだったか」を聞いたところイクメンだったと思う計（イクメンであったと思う＋どちらかというといイクメンであったと思う）は、23.8%の結果でした。
- 自身の父親世代に比べ今の方が、イクメン率は2倍以上に増加していることから、男性の育児が定着してきていることがわかります。
- 次に、自身の父親がイクメンだったと思う計と回答した男性のうち、自身がイクメンと回答した男性の割合は67.6%で、「イクメン」に育てられると、3人に2人がイクメンになることがわかりました。男性が育児へ積極的に参画してお手本をみせることで、子どもが将来イクメンになりやすいのかもしれません。

■イクメン割合 昔と今



■自身の父親がイクメンだった人のイクメン割合

(自身の父親がイクメンだったと回答した男性のみ回答)

自身の父親がイクメン だったと回答した男性 (n=111)	
自身がイクメンと 回答した男性	67.6%
自身がイクメンでないと 回答した男性	32.4%

(2) イクメンランキング

理想のイクメン総合ランキング第1位は「杉浦太陽」さん！

新設のスポーツレジェンド部門では、「アレックス・ラミレス」さんが第1位に！

○イクメンだと思える有名人、総合ランキング第1位は「杉浦太陽」さんとなりました。

○「杉浦太陽」さんは、前年の5位から、大きくランクアップ。特に女性からの支持が高く、選ばれた理由は「子育てにちゃんと参加してくれそう」(57.3%)、「妻を労ってくれそう」(42.1%)といった意見が多くみられ、「杉浦太陽」さん自身が発信している子育ての様子に加え、妻である「辻希美」さんが、SNSなどで「杉浦太陽」さんの子育てについて高く評価している姿を見て、多くの女性から賛同を得たのかもしれない。

○今年新設した「スポーツレジェンド部門」では、「アレックス・ラミレス」さんが第1位となりました。なお、「アレックス・ラミレス」さんは、総合ランキングでも第3位にランクインしており、特に男性からの支持が高いです。選ばれた理由で多いのは、「子育てにちゃんと参加してくれそう」(48.6%)や「頼りになるイメージがあるから」(31.0%)で、男性のイクメンの理想像は「頼りがいのある父親」であるのに対し、女性は「子育てへの参加や自分への労い」と、理想とするイクメンのイメージに違いがあるのかもしれない。

■2021年 イクメンランキング【総合】(敬称略)

全体 (n=1100)			昨年度 順位	男性 (n=550)		女性 (n=550)			
1位	杉浦太陽	15.5%	5位 (↑)	1位	つるの剛士	16.4%	1位	杉浦太陽	22.0%
2位	つるの剛士	15.0%	1位 (↓)	2位	杉浦太陽	9.1%	2位	つるの剛士	13.6%
3位	アレックス・ラミレス (野球)	3.8%	－	3位	はなわ	5.6%	3位	石田明 (NON STYLE)	6.5%
4位	エハラマサヒロ	3.7%	－	4位	アレックス・ラミレス (野球)	4.5%	4位	エハラマサヒロ	5.1%
4位	石田明 (NON STYLE)	3.7%	6位 (↑)	5位	谷原章介	3.3%	5位	谷原章介	4.2%
4位	谷原章介	3.7%	－	6位	井上康生 (柔道)	2.7%	6位	中尾明慶	3.5%
7位	はなわ	3.6%	9位 (↑)	7位	中村憲剛 (サッカー)	2.5%	7位	アレックス・ラミレス (野球)	3.1%
8位	藤井隆	2.5%	10位 (↑)	8位	エハラマサヒロ	2.4%	8位	藤井隆	2.7%
8位	中尾明慶	2.5%	－	8位	藤井隆	2.4%	9位	水嶋ヒロ	2.5%
10位	井上康生 (柔道)	2.2%	－	10位	ディーン・フジオカ	2.2%	10位	庄司智春 (品川庄司)	2.2%
				10位	田中裕二 (爆笑問題)	2.2%			
				10位	伊達みきお (サンドウィッチマン)	2.2%			

■2021年 イクメンランキング【部門別】(敬称略)

スポーツレジェンド部門 全体(n=1100)			バラエティタレント部門 全体(n=1100)			俳優・歌手部門 全体(n=1100)		
1位	アレックス・ラミレス（野球）	12.5%	1位	はなわ	12.7%	1位	つるの剛士	24.0%
2位	井上康生（柔道）	10.5%	2位	エハラマサヒロ	11.8%	2位	杉浦太陽	23.9%
3位	北島康介（水泳）	7.1%	3位	石田明（NON STYLE）	8.9%	3位	谷原章介	7.2%
4位	内藤大助（ボクシング）	6.5%	4位	庄司智春（品川庄司）	6.9%	4位	中尾明慶	6.9%
5位	五郎丸歩（ラグビー）	6.1%	5位	藤井隆	6.8%	5位	水嶋ヒロ	5.3%
6位	中村憲剛（サッカー）	5.5%	6位	伊達みきお（サンドウィッチマン）	5.6%	6位	ディーン・フジオカ	4.6%
7位	マック鈴木（野球）	4.6%	7位	田中裕二（爆笑問題）	5.5%	7位	江口洋介	3.0%
8位	上原浩治（野球）	4.0%	8位	土田晃之	4.7%	8位	ダイヤモンド☆ユカイ	2.3%
9位	川崎宗則（野球）	3.9%	9位	古坂大魔王	4.3%	9位	向井理	2.2%
10位	野村忠宏（柔道）	3.5%	10位	山根良顕（アンガールズ）	3.5%	10位	佐藤隆太	1.6%

番外編 子育てを表す漢字ランキング

子育てを表す漢字トップは男女とも「愛」
夫がイクメンだと、女性の育児は「楽しく」「幸せ」

- 子育てを表す漢字について聞いたところ、トップは男女とも「愛」が選ばれる結果となりました。2位には「絆」、3位には「楽」が選ばれ、こちらも男女とも同順位となりました。
- ポジティブな漢字「楽」「幸」を選んだ女性と、ネガティブな漢字「忍」「苦」を選んだ女性を比較すると、「楽」「幸」を選んだ女性の夫はイクメン率（75.0%）が高いのに対し、「忍」「苦」を選んだ女性の夫のイクメン率（38.9%）は低くなっています。
- 男性が「イクメン」となり、育児に参画することで、女性がより「楽しく」「幸せ」に育児ができると言えます。

■自身の子育てを表す漢字（トップ10を掲載）

全体 (n=1100)		
1位	愛	18.6%
2位	絆	11.0%
3位	楽	9.7%
4位	幸	9.6%
5位	忍	7.4%
6位	育	6.5%
7位	喜	5.8%
8位	学	4.5%
9位	笑	4.2%
10位	苦	3.8%

男性 (n=550)		
1位	愛	16.4%
2位	絆	11.8%
3位	楽	10.0%
4位	幸	9.8%
5位	喜	7.1%
6位	忍	6.2%
7位	遊	6.0%
8位	学	4.9%
8位	笑	4.9%
10位	育	4.7%

女性 (n=550)		
1位	愛	20.9%
2位	絆	10.2%
3位	楽	9.5%
3位	幸	9.5%
5位	忍	8.5%
6位	育	8.4%
7位	波	4.9%
8位	喜	4.5%
8位	苦	4.5%
10位	学	4.0%

■夫のイクメン度と女性の選んだ子育てを表す漢字

		夫がイクメンと回答
楽、幸 (ポジティブな漢字を選んだ女性)		75.0%
忍、苦 (ネガティブな漢字を選んだ女性)		38.9%